

メディアリリース

2016年7月28日

本資料は7月28日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

クレディ・スイス、2016年第2四半期業績を発表

クレディ・スイス・グループの2016年第2四半期決算は黒字。事業再編は引き続き進展。資本基盤はルックスルーCET1比率11.8%へと改善。

業績の進展

- クレディ・スイス・グループの当四半期の税引前利益は1億9,900万CHF(調整後ベース^{*}:2億9,000万CHF)となり、前四半期の4億8,400万CHFの税引前損失から6億8,300万CHF改善しました。
 - アジア太平洋部門(APAC)、スイス・ユニバーサル・バンク(SUB)、インターナショナル・ウェルス・マネジメント部門(IWM)を合わせた当四半期の調整後ベース^{*}税引前利益は9億3,300万CHFで、ウェルス・マネジメント部門の新規純資産は113億CHFと堅調
 - 事業再編後のグローバル・マーケッツ(GM)部門は黒字を計上し、公表ベース及び調整後ベース^{*}の税引前利益はそれぞれ1億5,400万CHF、2億400万CHF
 - インベストメント・バンキング&キャピタル・マーケッツ(IBCМ)部門は黒字に転換し、公表ベース及び調整後ベース^{*}の税引前利益はそれぞれ1億3,500万CHF、1億2,700万CHF
- 株主帰属純利益は1億7,000万CHFでした。

業務執行における優先項目の継続的遂行

- クレディ・スイス・グループの営業費用合計は、前年同期比で6%減(調整後ベース^{*}:8%減)の49億3,700万CHF(調整後ベース^{*}:48億4,600万CHF)となり、2016年末のコスト削減目標あるいはそれ以上の削減に向け順調なペースで推移しています。
- グローバル・マーケッツ事業再編促進(GMAR)では大幅な進展がありました。調整後ベース^{*}の営業費用合計は前年同期比7%減を達成し、加えてGM部門のリスク低減では、不利なストレス・シナリオ想定時に予想される四半期税引前損失を50%低減しました。
- ストラテジック・リゾリューション・ユニット(SRU)の段階的縮小に引き続き注力し、リスク加重資産を前四半期比で90億米ドル削減しました。

資本基盤の改善

- ルックスルーCET1比率は11.8%でした。
- ルックスルーCET1レバレッジ比率は3.3%でした。

* 調整後業績は、非GAAPの財務指標です。最も直接的に比較可能な米国GAAP財務指標に対する調整後業績の差異調整については、7月28日に発表された英語版メディアリリースのAppendixにおける調整項目の調整後数値をご参照下さい。